



10月～1月の予定一覧

10月23日(日)・24日(月) 東洋療法推進大会in埼玉

12月4日(日) 第二回青年女性部基礎セミナー

12月4日(日) 第二回保険研修会・勉強会

※新型コロナウイルス影響の為、予定の変更・延期・中止の可能性があります。

合谷(ごうこく)



病気に負けない免疫とツボのお話 その10

～猫背による健康への影響～

普段、無意識に猫背になっている人は意外と多いのではないのでしょうか。現代人の生活は前屈みばかりです。

猫背の姿勢では正しい姿勢に比べ肺活量は6分の1程度まで減少してしまうと言われています。また、猫背は胸部や内臓を圧迫することにより血流量を低下させてしまい、人によっては子宮や前立腺の癌のリスクも上げてしまうようです。

姿勢が悪くなることで筋力も低下します。そのため、発熱力が低下し、免疫力が低下。病気になりやすくなり、結果として老化が進みます。

普段から正しい姿勢を意識して免疫機能を向上させましょう。

合谷の場所：第一・第二中手骨底間陥凹間橈側

ツボの効能：頭痛、眼精疲労、歯痛、生理痛など

会長あいさつ

会長 佐藤佳孝

10月2日の研修会は講演のみでしたが、中央学術研修会に相応しい内容でした。COVID-19が出現して少しでも東洋医学に準じた情報を得ようと昨年から取り組んできました。今回の高山先生のご講演は、東北大学病院での臨床と多数の医療機関が、漢方薬を使ったデータの集積に協力して出来た内容で非常に重みのある内容をご教授ただけたことは、“あはき”師にとって後遺症に苦しむ患者さんへ迷わずにアプローチできることを示していただきました。もし来年以降治療薬が開発され、罹患率が下がると私達に対応する方もいなくなるかもしれません。“今だから”受講すべき講演だったのではと思います。

今回、受講者が非常に少なかったのは何故なのでしょう？“あはき”を医療と捉えられなくなったのでしょうか。この分野に目を背けてしまうと我々の業界は医療分野で活躍できなくなると思います。私達の主軸は何なのかを改めて会員の先生方に考えていただきたいと思います。

令和4年度第1回青年女性部基礎セミナー

青年女性部長 田窪京子

令和4年7月3日(日) 10時～12時、松山市総合コミュニティセンターにて、メディアでもご活躍の徳島県鍼灸マッサージ師会副会長、なかしま鍼灸院の 森 智美院長を講師にお迎えして、「基本の美容鍼」と題して講演と実技を行いました。

コロナ禍で制限のある中でしたが、満場の会場参加・WEBでのご参加ありがとうございました。東洋医学における「美容」は身体の健康を含めたものなので、リラックス効果等、コロナ禍における体調管理に役立ちます。実技では、ビフォーアフターでそれぞれ効果が得られ、閉会時間ギリギリまで楽しい時間を共有することができました。



令和4年度IT研修会

広報部長 二神茂嘉

令和4年7月10日(日)9:55～11:40、松山市総合コミュニティセンター 第1、第2会議室にて、IT研修会が行われました。

本年度のIT研修会では現在の時代背景によりSNSを利用した経営を行っている企業が多くある中、ノビシロラボ株式会社代表取締役の村上吉朗さんを講師に招き『SNSを理解して新規集客に活用するには』という演題で研修を行って頂きました。SNSの歴史から現在のSNS事情までご説明を頂き、SNSを理解した上でそれぞれの特徴を活かした患者の新規獲得の仕方を分かりやすく教えて頂きました。

また、一般の患者さんの目線から私たちの業界がどのように見えているのかを考えた上で、集客のためのスキルを身近なものに例えながらわかりやすく教えて頂きました。参加者の皆様もSNSの理解を深めると共に今後の経営に必要なツールを選別するきっかけになったように思います。

次回はそれぞれのツールに対して細かく焦点を当てて深掘してもらいたいという意見も出るなど有意義な研修会となりました。今後も皆様が活かせる情報を提供できるように致しますので、今後も奮ってご参加ください。

四国地区協議会報告

会長 佐藤佳孝

8月28日(日)、えひめ共済会館にてサテライト会場を設置し、令和4年度四国地区協議会が開催されました。昨年の高知ではオンラインの開催でしたが、今年はハイブリッド開催とし本会会員も会場に集まり、全鍼師会の伊藤会長をはじめ四国の役員の先生方と意見を交わしました。

伊藤会長の基調講演においては、全国的なあはき受療率の低下。勤務あはき師の意図しない施術の強要による、あはき業からの離職者の増加が問題となっている。また、業団への所属率低下が行政との折衝力を低下させることになり、組織率を上げるための施策として、会員と非会員との差別化を模索するとしている。業界としてあはきの魅力をいかに伝えていくが大きな課題だと強く訴えられました。

各師会とのディスカッションでは、保険、法制、事業、学術、広報について意見を交わした。保険においては、国保連合会療養費審査会の設置は愛媛以外には無かったが、厚生支局や地域医療推進協議会への参加による情報交換を行っている県もありました。本県保険部長からは審査会が設置されれば積極的に参加していただき、医師や保険者と意見を交わして欲しいと要望した。

法制関連では高知県師会の新聞社へ無資格業者の添付誘導広告についての意見書を提出する等の積極的な取り組みが紹介され、本会も看板是正措置の活動を紹介した。

事業としては、普及事業での集客について意見を求めたが各師会単独の活動は見られず、他団体イベントに協力する活動が紹介された。コロナ禍の為の代替活動としてパンフレットの配布に重点を置いている師会もあった。

学術においては医師への講師料について参考になる意見があった。

広報では会報の発行は2回から5回と幅があったが、点字印刷に対応しているのは本会と高知県師会のみであった。また、会員外からの寄稿料も参考になった。本会からの要望として全鍼メールに月刊東洋療法発行時のリンクを設けていただくとスムーズに閲覧できる提案に対して、翌月には対応していただだけ現在に至っている。

総括において、徳島県師会の中野義雄先生が、今期で全鍼師会の理事を退任するにあたり、四国からの理事を選出していただきたい意向が示されました。

最後は次年度開催県の香川県師会会長の宮武先生の挨拶で閉会となった。

知事表彰

石丸洋理事が中央学術研修会の開会式にて、長年に亘る就業と本会における功績が認められ知事表彰を受賞されました。昭和62年に免許を取得され地域住民への健康維持、増進に精励し、本会の保険部長としては、歴代最長となる9年間務められています。今後も益々のご活躍を期待します。



四国合同研修会開催

会長 佐藤佳孝

今年は四国地区協議会で合同研修会を開催しました。

本会顧問の櫃本真幸先生をお招きし、「企業における“あはき”業の捉え方」と題して講演いただきました。経済産業省が健康経営の普及促進に向けて、「健康経営優良法人認定制度」の設計を行っていることが紹介されました。

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

既に多種に亘るヘルスケア事業者が日本健康会議に登録され企業へ貢献していると推測されます。

その中で、“あはき”がどのような目標で協力できるかを検討していただきたい。しかし、あはきの出来る範囲は狭いという認識を持ってオフアする事が大事であると説明を受けました。産業医並びに他業種の方々との繋がりを持てる非常に興味深い内容の講演になりました。



8月9日はりきゅうマッサージの日

事業部長 田窪京子

このイベントは、県民への鍼灸マッサージ普及啓蒙活動として毎年開催しています。主に、「鍼・灸・施術の紹介」、「健康相談」、「保険制度の紹介」、「セルフケア指導」を個別に対応します。

令和4年度は、7月31日(日)13時～16時、四国中央市しこちゅ〜ホール 会議室2にて開催されました。今回は、保険部長が、遠方から来場された会員の先生に療養費・助成金の取り扱いを丁寧に個別に対応しました。新聞折り込みを見て来場された市民の方々は健康相談、無料施術を体験されました。

コロナ禍での制限、同日に「四国中央紙まつり」も開催されたこともあり(?)少人数のイベントとなりました。

国家資格保有者として今後も続けていきたいイベントなので、次回以降、皆さんの積極的なご参加を期待しております。

